

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第14週の発生動向

全数報告の感染症 (14週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 1例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：報告なし。5類感染症：播種性クリプトコックス 1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	都城	90歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
5類	播種性クリプトコックス症	延岡	70歳代	女	—	発熱、意識障害

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 792 人 (定点当たり 23.7) で、前週比 106%とやや増加した。前週に比べ増加した疾患はA群溶血性レンサ球菌と手足口病であった。減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

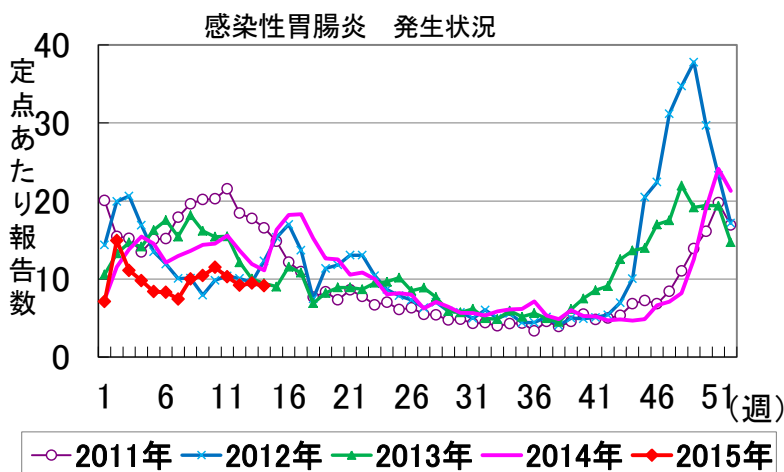
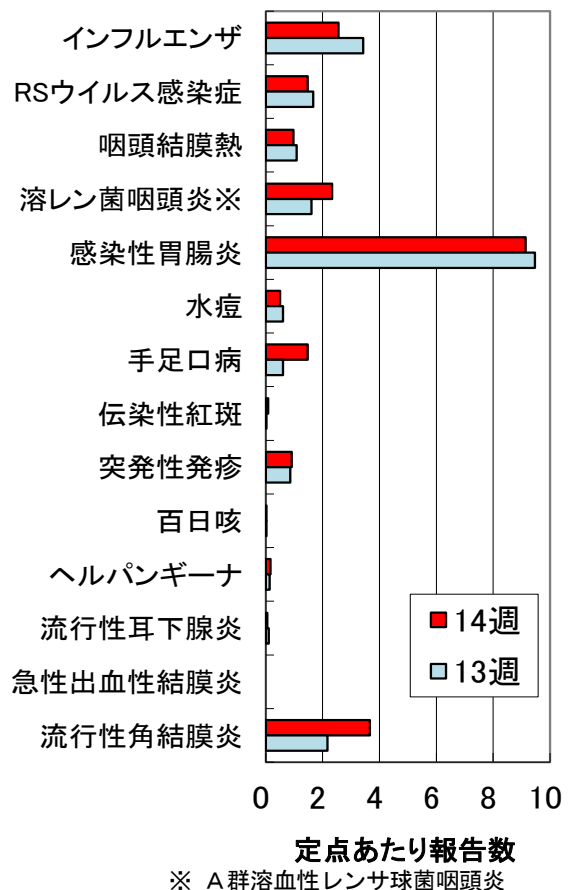
・報告数は 329 人 (9.1) で、前週比 96%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (13.6) の約 0.7 倍であった。中央 (31.0) 保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳が全体の約半数を占めた。

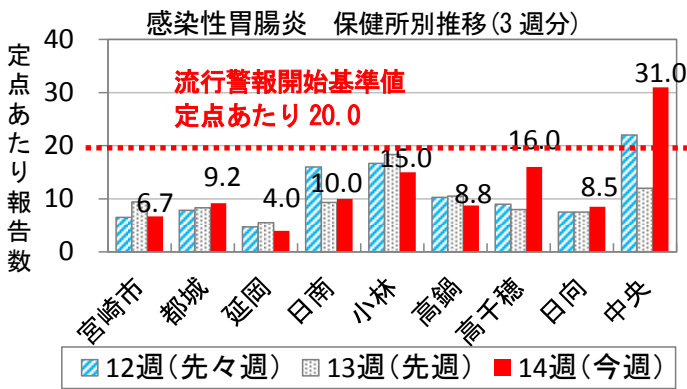
【手足口病】

・報告数は 53 人 (1.5) で、前週比 241%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.62) の約 2.4 倍であった。小林 (7.7) 保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 2 歳が全体の約 7 割を占めた。

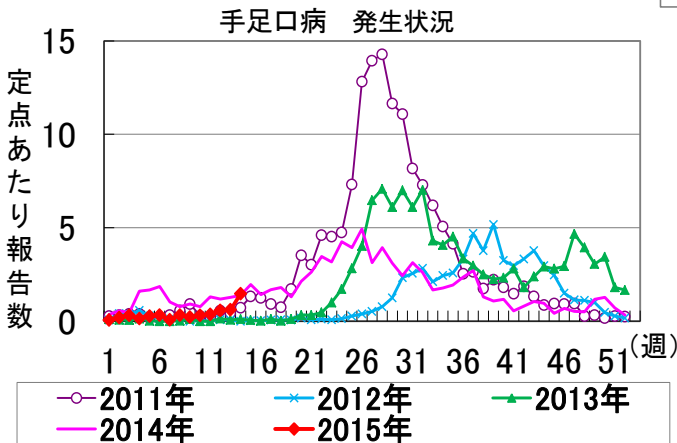
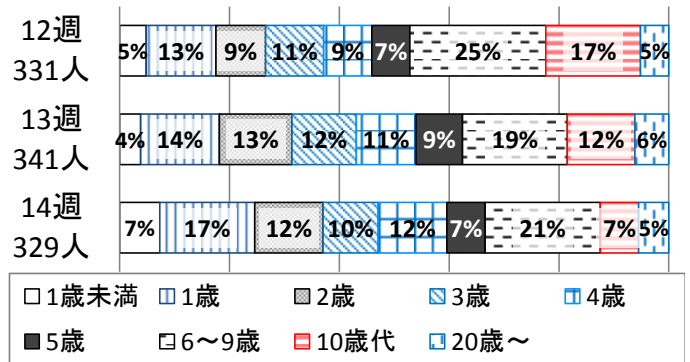
* 過去5年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

《前週との比較》

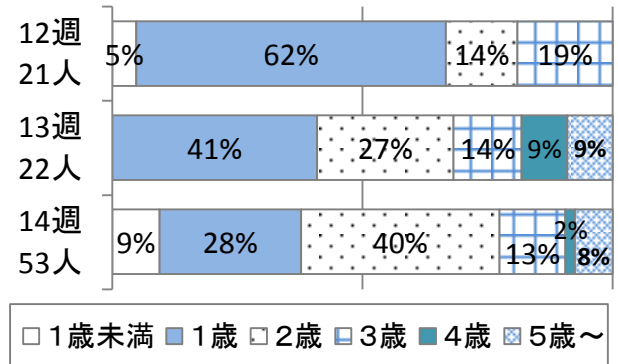




感染性胃腸炎 年齢別割合の推移(3週分)



手足口病 年齢別割合の推移(3週分)



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	手足口病(7.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	咽頭結膜熱(3.5)
中央	感染性胃腸炎(31.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)

★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス) : 高鍋及び日向保健所管内で1例ずつ報告された。
いずれも1~4歳で、原因病原体の群別不明。

□ 病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部 平成27年4月7日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EAggEC(O111:H21)	0~4歳	男	2015.3.9	胃腸炎(下痢、嘔吐)	便	2015.3.24
EAggEC(O111:H4)	5~9歳	女	2015.3.10	—	便	2015.3.24
ETEC(O169:H41)	20歳代	男	2015.3.23	胃腸炎(淡黄色便、腹痛、嘔気)	便	2015.3.31
ETEC(O169:H41)	30歳代	男	2015.3.23	—	便	2015.3.31

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	検出日
RSウイルス	0～4歳	女	2015.3.23	急性細気管支炎、下気道炎、喘息、 低酸素血症	咽頭ぬぐい液	2015.4.1
RSウイルス	0～4歳	女	2015.3.26	RSウイルス細気管支炎、39.0℃、 下気道炎、胃腸炎	咽頭ぬぐい液	2015.4.1
ライノウイルス	0～4歳	女	2015.3.30	急性細気管支炎、39.0℃、 下気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.4.1
ヒトメタニューモウイルス ライノウイルス	0～4歳	男	2015.3.19	ウイルス性肺炎、38.2℃、 下気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.4.1
ヒトメタニューモウイルス	0～4歳	男	2015.3.19	急性細気管支炎、肺炎、40.0℃、 下気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.4.1
ヒトメタニューモウイルス	5～9歳	女	2015.3.22	肺炎、下気道炎、40.0℃	咽頭ぬぐい液 気管吸引液	2015.4.1
ヒトメタニューモウイルス	0～4歳	女	2015.3.25	急性気管支炎、38.0℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.4.1
ヒトメタニューモウイルス	0～4歳	女	2015.3.27	急性細気管支炎、40.0℃、 下気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.4.1
ヒトメタニューモウイルス	0～4歳	男	2015.3.28	急性気管支炎、発熱、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.4.1

○細気管支炎と診断された乳児2名からRSウイルスが検出された。

○細気管支炎と診断された幼児1名からライノウイルスが検出された。

○気管支炎、肺炎と診断された乳幼児5名からヒトメタニューモウイルスが検出された。また、肺炎と診断された乳児からヒトメタニューモウイルスとライノウイルスが検出された。ヒトメタニューモウイルスは、初感染は生後6ヵ月から始まり、2歳では50%、遅くとも10歳までに一度は感染するとされている。しかし、一度の感染では十分な免疫はできず、乳幼児期において再感染を繰り返すことがある。また重症例では発熱が長期間続くことがあり、中耳炎や下気道への細菌の二次感染を考慮する必要がある。

🇯🇵 全国第13週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第13週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	293例				
3類感染症	細菌性赤痢	2例	腸管出血性大腸菌感染症	8例	腸チフス	2例
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	5例	つつが虫病	1例
	デング熱	5例	レジオネラ症	13例		
5類感染症	アメーバ赤痢	17例	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	6例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例
	後天性免疫不全症候群	13例	ジアルジア症	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5例
	侵襲性肺炎球菌感染症	34例	水痘（入院例）	3例	梅毒	25例
	風しん	2例	麻しん	2例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比90%と減少した。今週増加した主な疾患は手足口病と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は8,459人(2.7)で、前週比91%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(1.6)の約1.7倍であった。鳥取県(8.2)、石川県(6.1)、福井県(5.2)からの報告が多く、年齢別では4～6歳が全体の約4割を占めた。

感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスのものに限る)の報告数は232人(0.49)で、前週比98%とほぼ横ばいであった。群馬県(2.4)、石川県(2.0)、青森県(1.5)からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約8割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第14週(3月30日～4月5日)

疾病名		第13週	第14週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	202	151	59	21	7	30	6	3	1	23	1
	定点あたり	3.42	2.56	3.69	2.10	1.00	6.00	1.20	0.50	0.50	3.83	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	60	53	3	3	38			1		8	
	定点あたり	1.67	1.47	0.30	0.50	9.50	0.00	0.00	0.25	0.00	2.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	39	35	7	2	6	6				14	
	定点あたり	1.08	0.97	0.70	0.33	1.50	2.00	0.00	0.00	0.00	3.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	58	84	31	7	14	9		4		16	3
	定点あたり	1.61	2.33	3.10	1.17	3.50	3.00	0.00	1.00	0.00	4.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	341	329	67	55	16	30	45	35	16	34	31
	定点あたり	9.47	9.14	6.70	9.17	4.00	10.00	15.00	8.75	16.00	8.50	31.00
水痘	報告数	22	18	5	3	2	2		4		2	
	定点あたり	0.61	0.50	0.50	0.50	0.50	0.67	0.00	1.00	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	22	53	6	19			23	2		2	1
	定点あたり	0.61	1.47	0.60	3.17	0.00	0.00	7.67	0.50	0.00	0.50	1.00
伝染性紅斑	報告数	1	3	1			1		1			
	定点あたり	0.03	0.08	0.10	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	31	33	10	3	7	2	5	3		3	
	定点あたり	0.86	0.92	1.00	0.50	1.75	0.67	1.67	0.75	0.00	0.75	0.00
百日咳	報告数	1	1	1								
	定点あたり	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	5	6		2	4						
	定点あたり	0.14	0.17	0.00	0.33	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	2		2							
	定点あたり	0.11	0.06	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	13	22	20	1	1						
	定点あたり	2.17	3.67	6.67	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2	2						1		1	
	定点あたり	0.29	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～14週)

2類感染症	結核	56例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例				
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	3例	マラリア	1例
	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	2例	播種性クリプトコックス症	2例(1)
	破傷風	1例				

()内は今週届出分、再掲